



2025年度

当初設計

南蔵王春日 5 号線 1 号橋

福山市南蔵王町五丁目地内

橋梁修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長 L=2.3m 橋長 L=2.3m 有効幅員 W=7.4m~9.5m 断面修復工 A=0.4m2 ひび割れ補修工 L=4.3m 表面被覆工 A=19m2 水切り工 L=3m	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（南蔵王春日5号線1号橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 地権者への承諾

- ・地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等はないと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。
- ・受注者は、工事着手に先立ち、地権者に民地への出入の位置を確認し、歩道切り下げ箇所、民地進入路の位置や勾配について監督員と協議すること。
- ・受注者は、街路樹を植樹する近隣の地権者に街路樹を植樹する位置等の説明を行い、承諾を得ること。

第5節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第6節 現場代理人の常駐義務

- ・本工事において、現場代理人は常駐しなければならない。なお、やむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

第7節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第3節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：仮設工（レベル2）、土留・仮締切工、水替工、仮水路工（レベル3）

第4節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第5節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13 日間、年末年始6 日間（12月29 日～1月3 日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3 日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - （1）補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - （2）補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第4章 その他

第1節 福山市週休2日モデル工事について

本工事は、福山市週休2日モデル工事の実施について対象外とします。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07.04.01(0)	凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】	1	式			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020039 00 単第0 -0001 表
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020043 00 単第0 -0002 表
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
充てん工法 【材料種類】	1	構造物			Y1G03240401 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ひび割れ補修工(充てん工法) 補修延べ延長20m未満の場合	1	構造物			S1020031 00 単第0 -0003 表
表面保護工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理	1	橋			Y1G03240601 レベル4
表面保護工 下地処理 サンダーケレン,時間的制約無,高所作業車無 1橋当り10m2以上20m2未満	1	橋			V0004 00 単第0 -0004 表
表面保護工	1	式			Y1G03240607 レベル4
表面保護工 ケイ酸塩リチウム・シラン混合型防水材 コンクリートキーパー相当品	19	m2			V0001 00 単第0 -0005 表
型枠充填工	1	式			Y1G032406 レベル3
型枠充填工	1	式			Y1G03240607 レベル4
型枠充填工	1	式			V0002 00 単第0 -0006 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水切工	1	式			Y1G032406 レベル3
水切設置工	1	式			Y1G03240607 レベル4
水切設置工 高所作業車、足場は含まない	1	橋			V0003 00 単第0 -0010 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1G032706 レベル3
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分,工法区分】	1	式			Y1G03270601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.9	m3			SDT00031 00 単第0 -0011 表
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 【殻種別】	1	式			Y1G03271601 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超)	0.9	m3			SPK24040151 00 単第0 -0012 表
殻処分 【殻種別】	1	式			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻受入費(無筋) 再生工場搬入	2	t			F0000000006 00
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
土留・仮締切工	1	式			Y1G032804 レベル3
土のう積	1	式			Y1G03280420レベル4
土のう拵え, 積立, 撤去工 側面並べ	5	m2			S1012 00 単第0 -0013 表
水替工	1	式			Y1G032806 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ排水 【排水量,排水方法】					Y1G03280601レベル4
ポンプ運転工		式			SG1D0042001 00
	7	日			単第0 -0014 表
仮水路工					Y1G032808 レベル3
	1	式			
暗渠排水管					Y1G03280803レベル4
		式			
暗渠排水管 据付・撤去 直管 200～400mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径400mm					SPK24040092 00
	4	m			単第0 -0016 表
交通管理工					Y1G032821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G03282101レベル4
		式			
交通誘導警備員B					R0369 00
	21	人			
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					

本工事費 内訳表

頁0 -0007

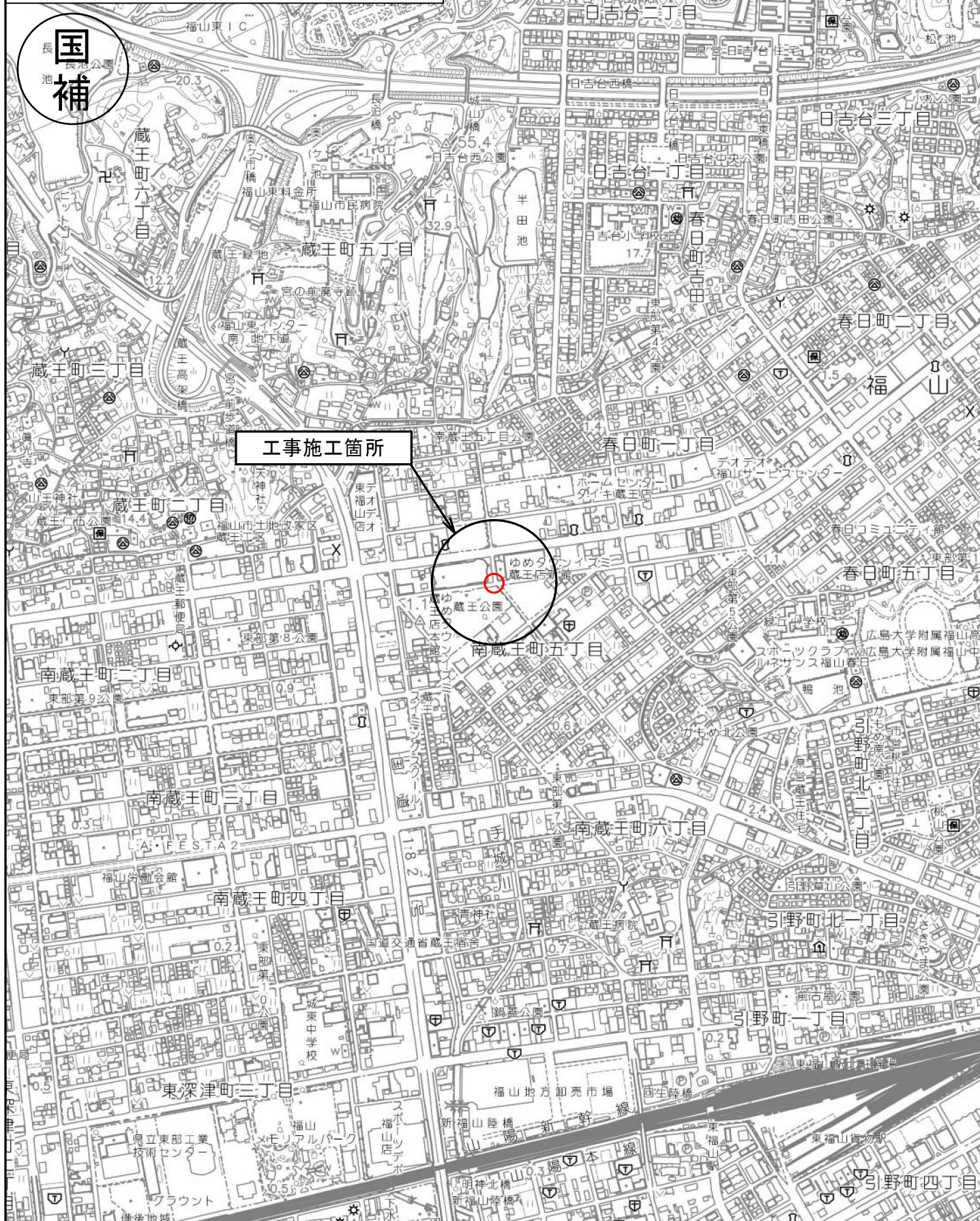
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

本工事費 内訳表

頁0 -0008

[illegible]

図面番号	1 / 4	縮 尺	S=1:10,000
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	位置図	番号	
路 線 名	南蔵王春日5号線1号橋		
業務委託箇所	福山市南蔵王町五丁目地内		
福 山 市			



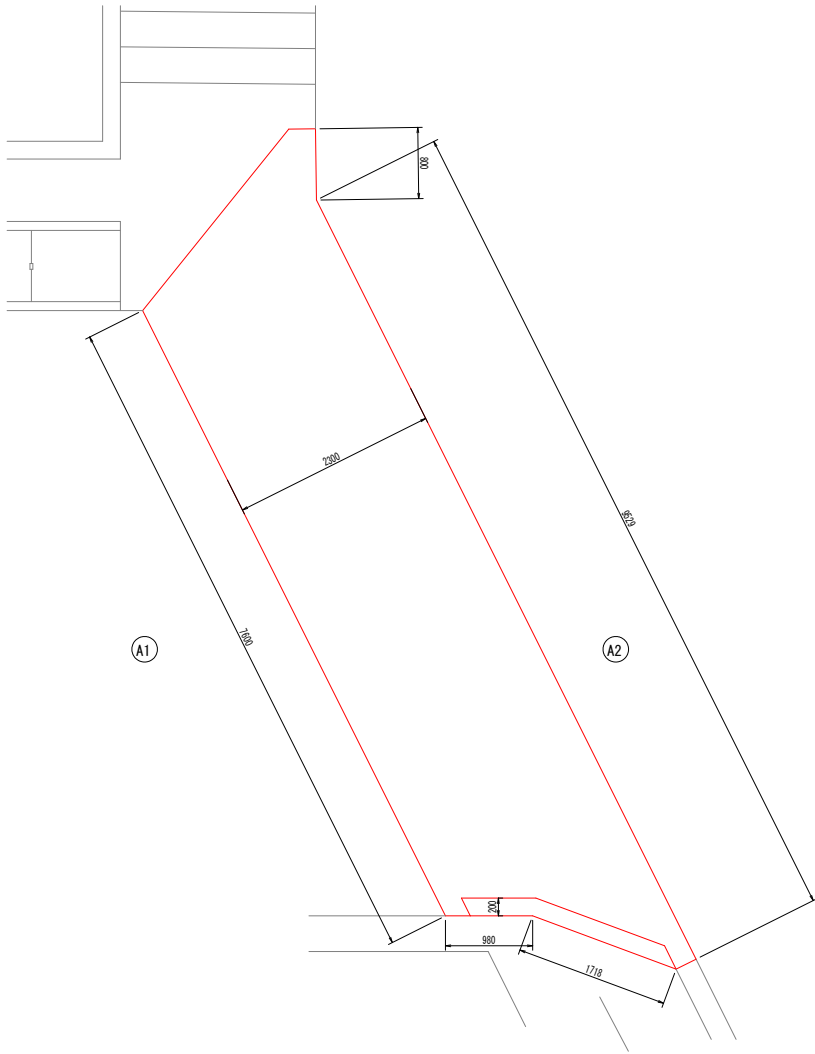
図面番号	2／4	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	各種図面		
路 線 名	南蔵王春日5号線 1号橋		
工事箇所	福山市南蔵王町五丁目地内		
福 山 市			



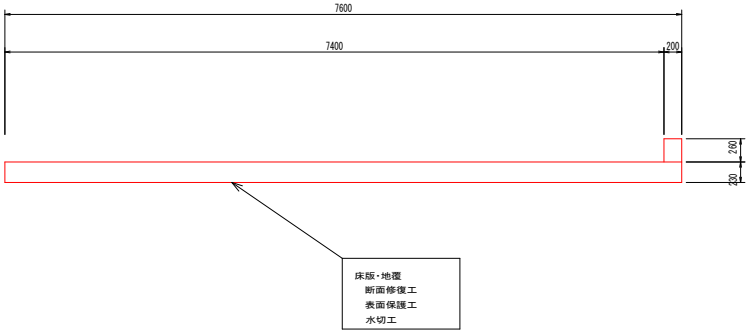
平面図
S=1:60



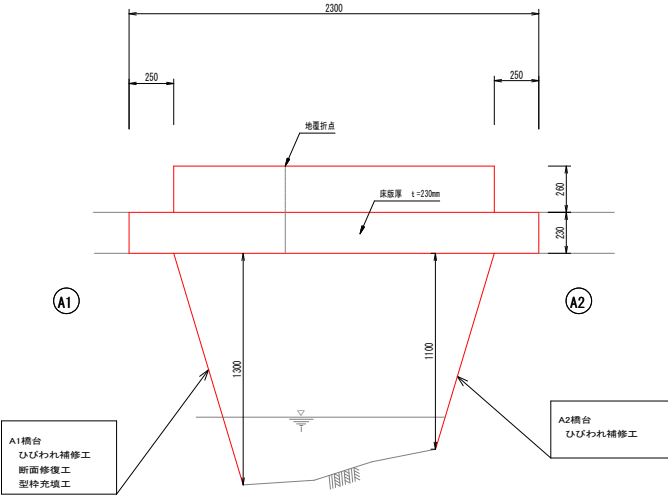
工事延長 L=2.3m
橋長 L=2.3m
有効幅員 W=7.4m~9.5m
断面修復工 A=0.4m2 (V=0.05m3)
ひび割れ補修工 L=4.3m
表面被覆工 A=19m2
水切り工 L=3m



標準断面図
S=1:60



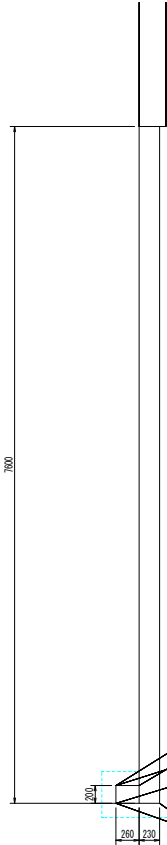
下流側側面図 S=1:30



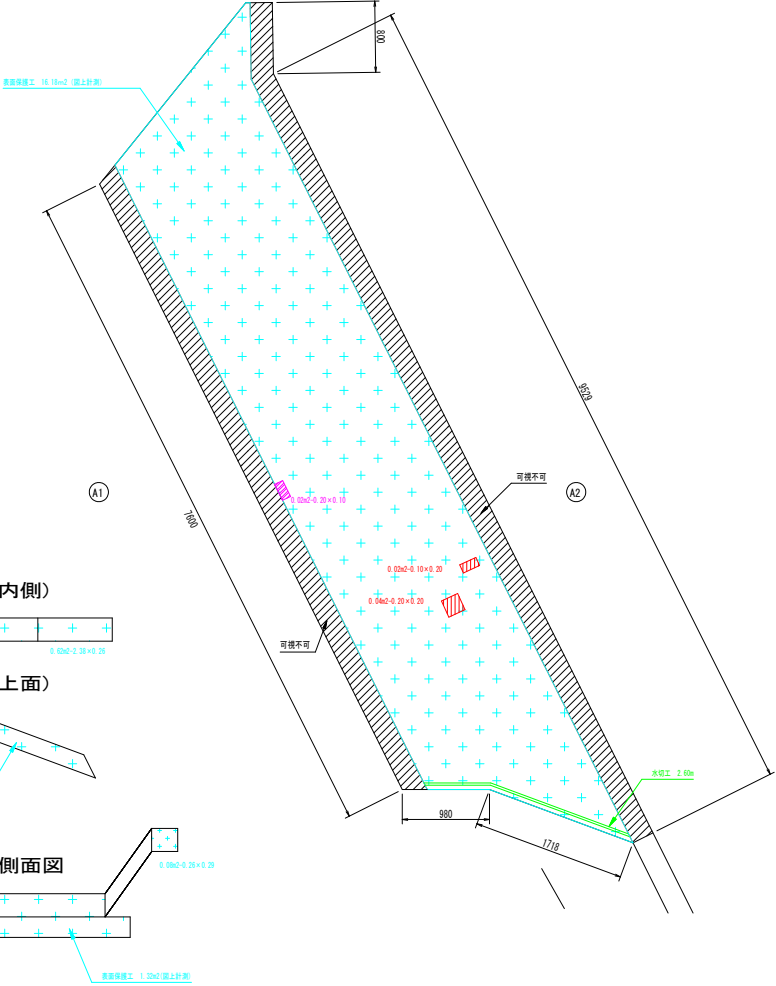
図面番号	3 / 4	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	各種図面		
路 線 名	南蔵王春日5号線 1号橋		
工事箇所	福山市南蔵王町五丁目地内		
福 山 市			



標準断面図



平面図



地覆(内側)

地覆(上面)

下流側側面図

補修工法凡例

修 繕	記 号	補修対象工法
鉄筋露出 箇中の数量は面積(m2)と幅×高さ(m)を参照。 5mm×5mm		鉄筋補修工
コンクリート剥離 箇中の数量は面積(m2)と幅×高さ(m)を参照。		鉄筋補修工
変形・欠損 箇中の数量は面積(m2)と幅×高さ(m)を参照。		鉄筋補修工
コンクリート表面剥離部		表面保護工
コンクリート表面露出面		水切設置工

表面保護工数量表

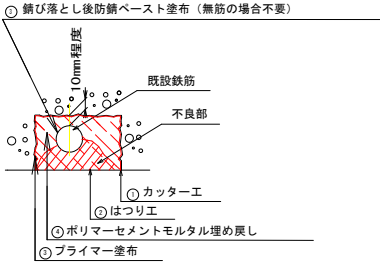
部 位	面積m2
地 盤	2.56
床 版	16.18
合 計	18.74

床版下面・側面補修図

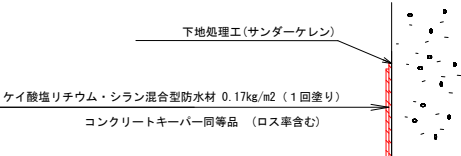
S=1:60

断面修復工
(左官工法)

d=5cm

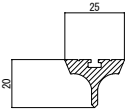


表面保護工



水切工

独立気泡スポンジ (EPDMゴム系) ウォーターカッター相当品

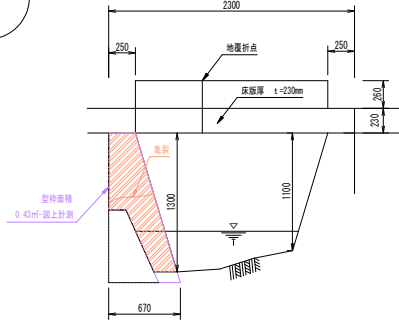


【注記】 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事。

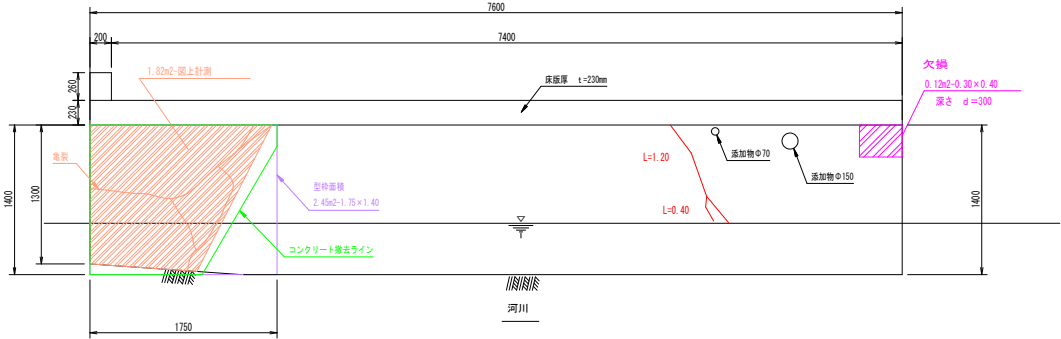
図面番号	4 / 4	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	各種図面		
路 線 名	南蔵王春日5号線 1号橋		
工事箇所	福山市南蔵王町五丁目地内		
福 山 市			



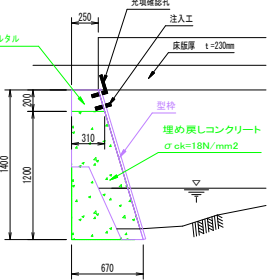
A1橋台 下流側 側面図



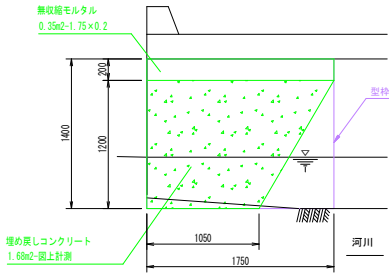
A1橋台正面図



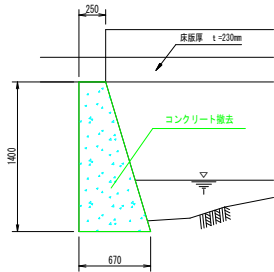
A1橋台 下流側 側面図
(コンクリート充填図)



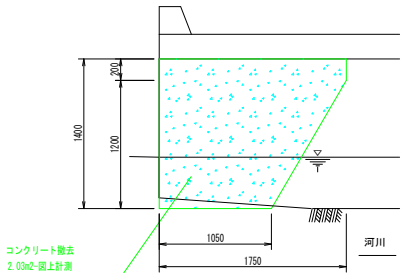
A1橋台正面図
(コンクリート充填図)



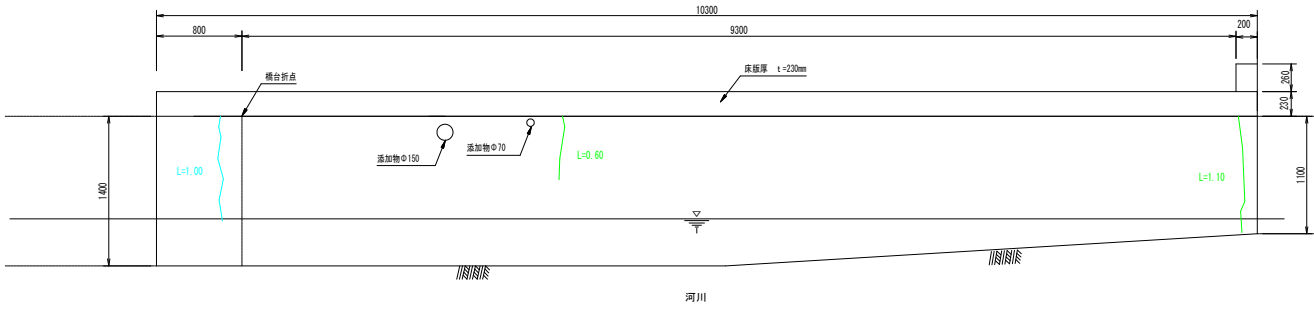
A1橋台 下流側 側面図
(コンクリート撤去図)



A1橋台正面図
(コンクリート撤去図)



A2橋台正面図



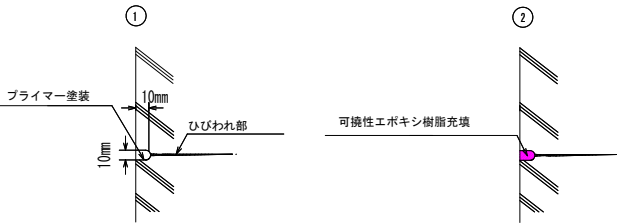
補修工法凡例

修 繕	記 号	補修対象工法
ひびわれ (1~2.5mm) 箇中の撤去は長さ (a) を示す。		ひびわれ充填工
ひびわれ (2.1~3.5mm) 箇中の撤去は長さ (a) を示す。		ひびわれ充填工
ひびわれ (3.6mm以上) 箇中の撤去は長さ (a) を示す。		ひびわれ充填工
変形・変曲 箇中の撤去は撤去 (a) と幅×高さ (b) を示す。		断面修復工
亀裂・亀裂による変曲 箇中の撤去は撤去 (a) を示す。		型枠注入・充填工
断面修復 箇中の撤去は撤去 (a) と幅×高さ (b) を示す。		型枠
コンクリート撤去範囲 箇中の撤去は撤去 (a) を示す。		コンクリート撤去
埋め戻しコンクリート・無収縮モルタル 充填注入範囲		型枠充填注入工

橋台補修図

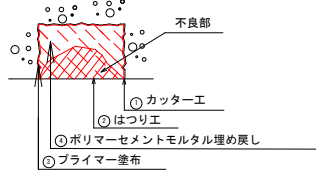
S=1:50

ひびわれ充填工



断面修復工
(左官工法)

d=30cm程度



コンクリート撤去数量表 (A1橋台)
上流側 (撤去後断面修復工 (左官工法))

単 位	算 式	数 量
m2	0.30×0.40	0.12
m3	0.12×0.30	0.04
t	0.04×1.75	0.07

コンクリート撤去数量表 (A1橋台)
下流側

単 位	算 式	数 量
m2	0.35+1.68	2.03
m3	2.03×(0.25+0.67)×1/2	0.93
t	0.93×2.35	2.19

型枠数量表 (A1橋台)

区 間	単 位	算 式	数 量
正面	m2	1.75×1.40	2.45
側面	m2	図上計測	0.43
合 計			2.88

埋め戻しコンクリート数量表 (A1橋台)

単 位	算 式	数 量
m3	1.68×((0.31+0.67)×1/2)	0.82

無収縮モルタル数量表 (A1橋台)

単 位	算 式	数 量
m3	0.35×(0.25+0.31)×1/2	0.10

【注記】 施工に当たっては現地計測の上、施工数量を決定の事。

参 考 图 书

施工単価表

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020039
修復延べ体積0.1m3未満の場合

単第0 -0001 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.300	人			
特殊作業員	3.800	人			
普通作業員	2.500	人			
ポリマーセメントモルタル 左官工法用(コテ塗り) シーカエマコ S990相当品 25kg袋	0.012	m3			
諸雑費	11	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】断面修復材(m3)			B=0.01 断面修復材の設計数量(m3/構造物)		

施工単価表

頁0 -0002

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)

S1020043
修復延べ体積0.1m3未満の場合

単第0 -0002 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.900	人			
特殊作業員	3.200	人			
普通作業員	2.100	人			
ポリマーセメントモルタル 左官工法用(コテ塗り) シーカエマコ S990相当品 25kg袋	0.047	m3			
諸雑費	9	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】断面修復材(m3)			B=0.04	断面修復材の設計数量(m3/構造物)	

施工単価表

頁0 -0003

ひび割れ補修工(充てん工法)
補修延べ延長20m未満の場合

S1020031

單第0 -0003 表

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.850	人			
特殊作業員	1.300	人			
普通作業員	1.100	人			
ひび割れ充てん材 パテ状可とう性エポキシ樹脂 ボンドE600 相当品	0.672	kg			
諸雑費	17	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=2 【F】充てん材(kg)			B=0.56	充てん材の設計数量(kg/構造物)	

施工単価表

頁0 -0004

表面保護工 下地処理

V0004

單第0 -0004 表

サンダーケレン, 時間的制約無, 高所作業車無 1橋当り10m2以上20m2未満

橋 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0005

表面保護工

V0001

單第0 -0005 表

ケイ酸塩リチウム・シラン混合型防水材

コンクリートキーパー相当品

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0006

型枠充填工

V0002

單第0 -0006 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK24040155
鉄筋・無筋構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0007 表

1
標準単価:

m2 当り
9,352.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

頁0 -0008

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0008 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 29.40% 材料構成比: 70.60% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 28,051.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

頁0 -0009

モルタル練
普通

SPK24040154

単第0 -0009 表

1
標準単価： m3 当り
94,888.00000

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 83.30% 材料構成比： 16.70% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	55.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
非計上 材料単価	11.28%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPCD0094 TTPT00063
非計上 材料単価	5.42%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=2 普通			B=2 機械費・労務費のみ(1日未満完了作業)		

施工単価表

頁0 -0010

水切設置工
高所作業車、足場は含まない

V0003

單第0 -0010 表

橋 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0011 表

人力施工

m3 当り

[illegible]

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超)

単第0 -0012 表
1
標準単価: 2,757.10000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=56 運搬距離18.5km以下(14.4km超)		

施工単価表

頁0 -0013

土のう拵え，積立，撤去工
側面並べ

S1012

単第0 -0013 表

10

m2

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
再生砂	2.800	m3			
土のう 幅48cm×長62cm,2号,ポリエチレン製	140.000	枚			化学繊維袋
普通作業員	5.880	人			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 側面並べ C=5 土砂【登録単価CODE】(m3)			B=1 土のう拵え，積立，撤去		

施工単価表

ポンプ運転工

SG1D0042001

単第0 -0014 表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.11	人			
普通作業員	0.05	人			
工事用水中ポンプ損料	1	日			単第0-0015 表
発動発電機 ガソリンエンジン駆動 定格容量3kVA	1	日			
諸雑費	18	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 作業時排水 C=2 ポンプ2台			B=2 発動発電機 D=1 普通型(潜水ポンプ) 口径50mm全揚程5m		

施工単価表

頁0 -0015

工事用水中ポンプ損料

SGAD0042001

單第0 -0015 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

暗渠排水管

SPK24040092

単第0 -0016 表

据付・撤去 直管 200～400mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径400mm

1 m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

18.29%

材料構成比:

81.71%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

4,945.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	13.04%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.25%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径400(420×11.8)	81.71%		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0409 TTPT00189
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=2 200～400mm G=2 期間3ヶ月未満(損料率0.2) I=1 -(全ての費用)			B=1 直管 D=60 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径400mm H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算		
【管材料単価】					
管材料単価(円) * (材料損料率 + (材料損料率 * 現場状況による材料損料率の率乗算))					

本 工 事 総 括 表

[illegible]

1. 補修数量集計表

工種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量							
					上部工	下部工			路面工		その他	合 計
						A1橋台	A2橋台	下部工計	舗装	その他		
橋梁工	断面修復工 (防錆処理有)	ポリマーセメントモルタル d=5cm	面積	m2	0.24	—	—	—	—	—	—	0.24
			体積	m3	0.01	—	—	—	—	—	—	0.01
			重量	kg	21.00	—	—	—	—	—	—	21.00
	断面修復工 (防錆処理無)	ポリマーセメントモルタル d=30cm	面積	m2	—	0.12	—	0.12	—	—	—	0.12
			体積	m3	—	0.04	—	0.04	—	—	—	0.04
			重量	kg	—	70.00	—	70.00	—	—	—	70.00
	ひびわれ充填工	1.1mm以上	パテ状可撓性エポキシ樹脂	m	—	1.60	2.70	4.30	—	—	—	4.30
				kg	—	0.21	0.35	0.56	—	—	—	0.56
			プライマー	kg	—	0.02	0.03	0.05	—	—	—	0.05
	表面保護工	下地処理工	高圧洗浄・サンダーケレン	m2	18.74	—	—	—	—	—	—	18.74
		ケイ酸塩リチウム・シラン混合型防水材		//	18.74	—	—	—	—	—	—	18.74
		1回塗(ロス含む)	0.17kg/m2	kg	3.19	—	—	—	—	—	—	3.19
	構造物とりこわし工	コンクリートはつり・積込	人力施工	m3	—	0.93	—	0.93	—	—	—	0.93
		コンクリート殻運搬	コンクリート殻(2.35t/m3)	t	—	2.19	—	2.19	—	—	—	2.19
	型枠充填工	型枠	一般型枠	m2	—	2.88	—	2.88	—	—	—	2.88
		無収縮モルタル	1875kg/m3	m3	—	0.10	—	0.10	—	—	—	0.10
		コンクリート埋め戻し	σ ck=18N/mm2	m3	—	0.82	—	0.82	—	—	—	0.82
	水切工	EPDM系ゴム	25mm×20mm	m	2.60	—	—	—	—	—	—	2.60
仮設工	土嚢積工	土嚢	62×48cm	m2	—	5.28	—	5.28	—	—	—	5.28
		硬質ポリ塩化ビニル管(VU)	φ 400mm×4.0m	本	—	1	—	1	—	—	—	1

2. 補修数量

2.1 上部工補修数量

2.1.1 床板・地覆

位 置	コンクリートひびわれ						遊離石灰	コンクリート断面欠損(地覆)										
	0.2mm未満	0.2mm～ 1.0mm	1.1mm～ 2.0mm	2.1mm～ 3.0mm	5.1mm～	遊離石灰		鉄筋露出	うき 剥離	変形 欠損	豆板	表面劣化						
m						m2												
床版									0.02		0.04		0.12					
									0.04				0.02					
地覆																		
小 計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.04	0.14	0.00	0.00					

2.2 下部工補修数量

2.2.1 A1橋台

位 置	コンクリートひびわれ										遊離石灰	コンクリート断面欠損											
	0.2mm未満		0.2mm～ 1.0mm		1.1mm～ 2.0mm		2.1mm～ 3.0mm		5.1mm～			遊離石灰		鉄筋露出		うき 剥離		変形 欠損		亀裂による 分断		表面劣化	
	m											m2				m3				m2			
A1橋台					1.20													0.04		0.84			
					0.40																		
小 計	0.00		0.00		1.60		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.04		0.84		0.00		

2.2.2 A2橋台

位 置	コンクリートひびわれ												遊離石灰	コンクリート断面欠損									
	0.2mm未満		0.2mm～ 1.0mm		1.1mm～ 2.0mm		2.1mm～ 3.0mm		5.1mm～		遊離石灰			鉄筋露出		うき 剥離		変形 欠損		豆板		表面劣化	
m												m2											
A2橋台							0.60			1.00													
							1.10																
小 計	0.00		0.00		0.00		1.70		1.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		

3.断面修復工

3.1 上部工 修復深さ d=5cm
ポリマーセメントモルタル埋戻し (防錆処理有り)

		鉄筋露出		うき・剥離		変形・欠損			
A	=	0.06	+	0.04	+	0.14	=	0.24	m2
V	=	0.24		×		0.05	=	0.012	m3
w	=	0.012		×		1750	(kg/m3)	21.00	kg
断面修復材 V(m3)	=							0.012	m3

3.2 下部工 A1橋台 上流側 修復深さ d=30cm
ポリマーセメントモルタル埋戻し (防錆処理無し)

		変形・欠損							
A	=	0.12					=	0.12	m2
V	=	0.12		×		0.30	=	0.04	m3
w	=	0.04		×		1750	(kg/m3)	70.00	kg
断面修復材 V(m3)	=							0.040	m3

4.ひびわれ充填工

注記) ・Uカット修復:幅10mm、深さ10mmとする。
・充填材の使用量はメーカーカタログより抜粋。
・プライマーの塗布量はカタログ、ロス率はコンクリートメンテナンス協会より抜粋。

4.1.1 下部工(A1橋台)
・パテ状可とう性エポキシ樹脂充填工標準使用量

(1)ひびわれ幅 1.1～2.0mm
ひびわれ延長 L= 1.60m

イ) 充填材の使用量

$$w = \frac{\text{標準施工量(メーカーカタログより)}}{\text{kg/m}^2} \times \text{ひびわれ延長} = 0.21 \text{ kg}$$

ロ) プライマーの使用量

$$w = \frac{\text{単位面積当たり設計量(kg/m}^2\text{)}}{\text{kg/m}^2} \times \frac{\text{Uカット直径}}{\text{ひびわれ延長}} \times \frac{\pi}{\text{ロス率}} \times \frac{1}{2} = 0.016 \text{ kg}$$

4.1.2 下部工(A2橋台)
・パテ状可とう性エポキシ樹脂充填工標準使用量

(1)ひびわれ幅 2.1mm～
ひびわれ延長 L= 2.70m

イ) 充填材の使用量

$$w = \frac{\text{標準施工量(メーカーカタログより)}}{\text{kg/m}^2} \times \text{ひびわれ延長} = 0.35 \text{ kg}$$

ロ) プライマーの使用量

$$w = \frac{\text{単位面積当たり設計量(kg/m}^2\text{)}}{\text{Kg/m}^2} \times \frac{\text{Uカット直径}}{\text{ひびわれ延長}} \times \frac{\pi}{\text{ロス率}} \times \frac{1}{2} = 0.028 \text{ kg}$$

5.表面保護工

施工面積

床版下面	16.18	m2
地覆	2.56	m2

合計 = 18.74m²

施工数量

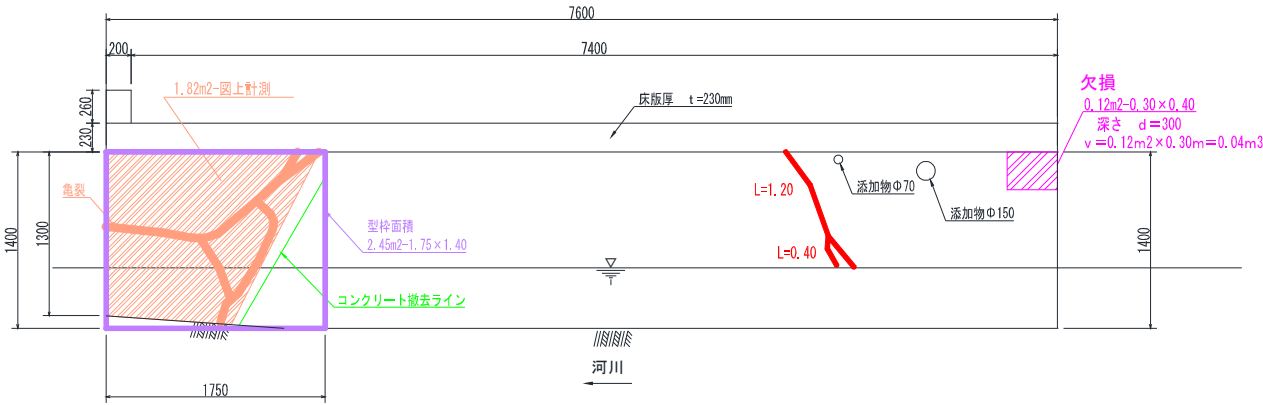
(ケイ酸塩リチウム・シラン混合型防水材)

	面積m2	塗布量 kg/m2	
w =	18.74	×	0.17 = 3.19 kg

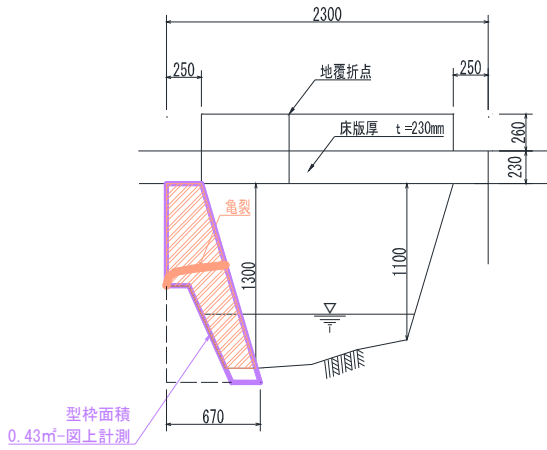
6. 型枠充填工(A1橋台) 亀裂による分断箇所

1)	コンクリートはつり・撤去体積							
	$2.03 \times (0.25 + 0.67) \times 0.5$			計	0.93	m3		
2)	撤去コンクリート重量	0.93	$\times 2.35$	計	2.19	t		
3)	型枠面積	2.45	$+ 0.43$	計	2.88	m2		
4)	埋め戻しコンクリート数量							
	$1.68 \times (0.31 + 0.67) \times 0.5$			計	0.82	m3		
5)	無収縮モルタル数量							
	$0.35 \times (0.25 + 0.31) \times 0.5$			計	0.10	m3		

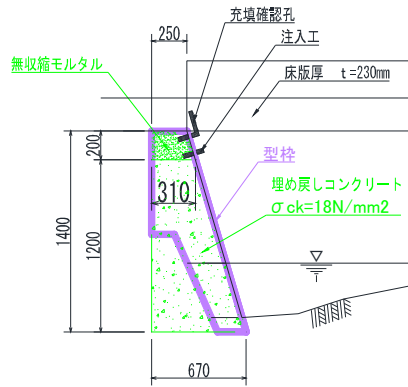
A1橋台正面図



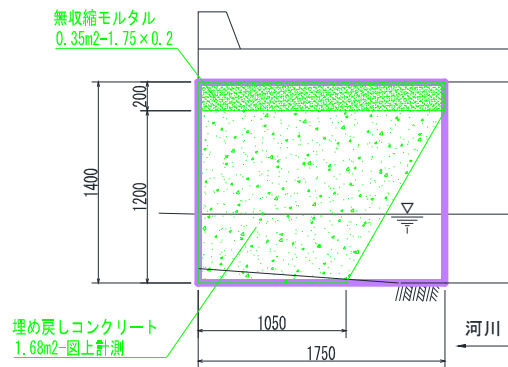
A1橋台 下流側 側面図



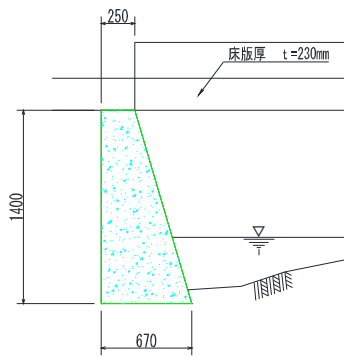
A1橋台 下流側 側面図
(コンクリート充填図)



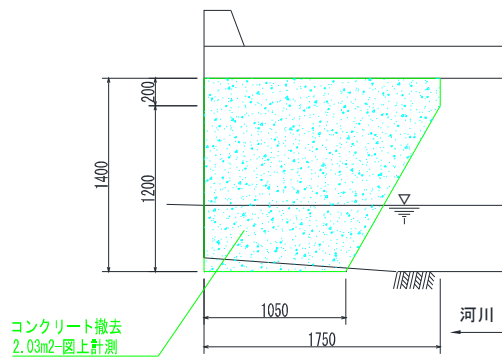
A1橋台正面図
(コンクリート充填図)



A1橋台 下流側 側面図
(コンクリート撤去図)



A1橋台正面図
(コンクリート撤去図)

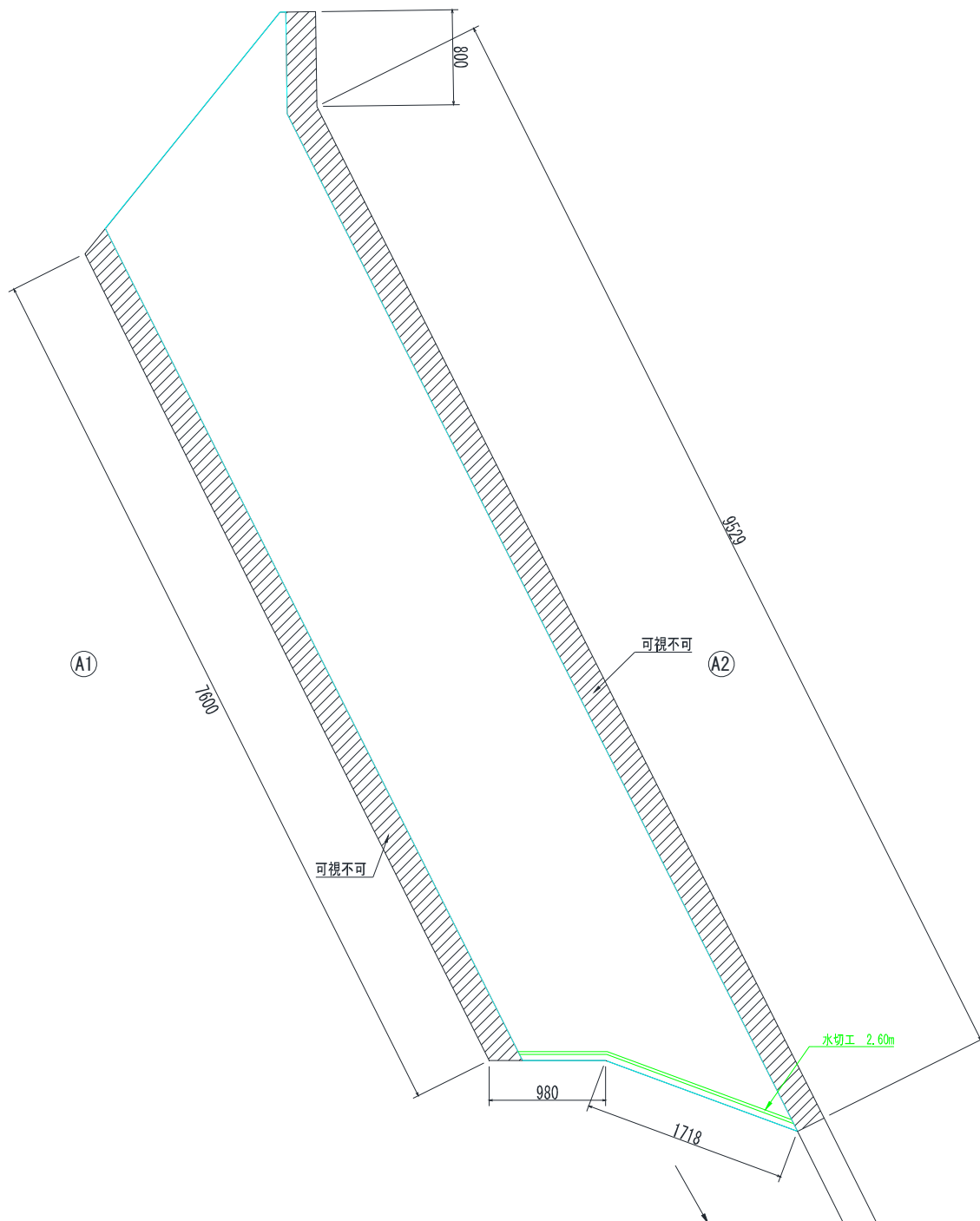


7.水切工 上部工 床版下面

EPDM系ゴム

下流側

L = 2.60m

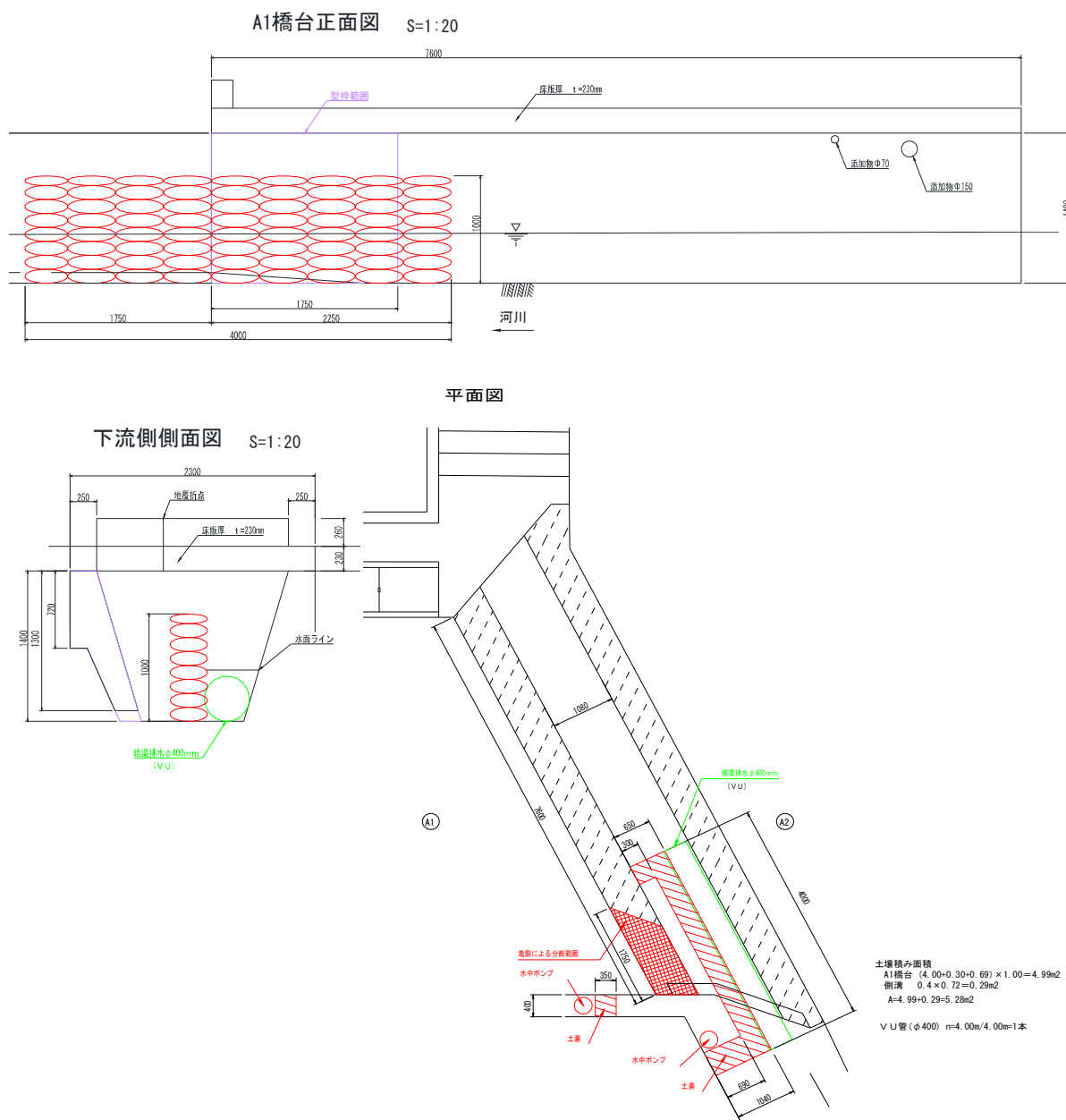


(下記参考図及び補修図参照)

土囊 = A1橋台 5.28 m2

硬質ポリ塩化ビニル管(VU) φ 400 L=4m 1 本

参考図

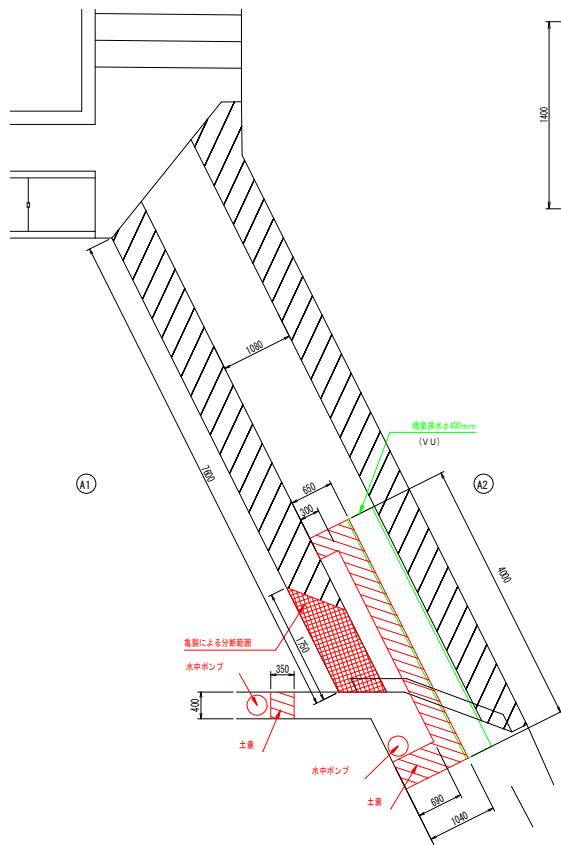


図面番号	1／2	縮	尺	図	示
工種	橋梁修繕工事				
種別	各種図面				
路線名	南蔵王春日5号線1号橋				
工事箇所	福山市南蔵王町五丁目地内				
福 山 市					

参考図

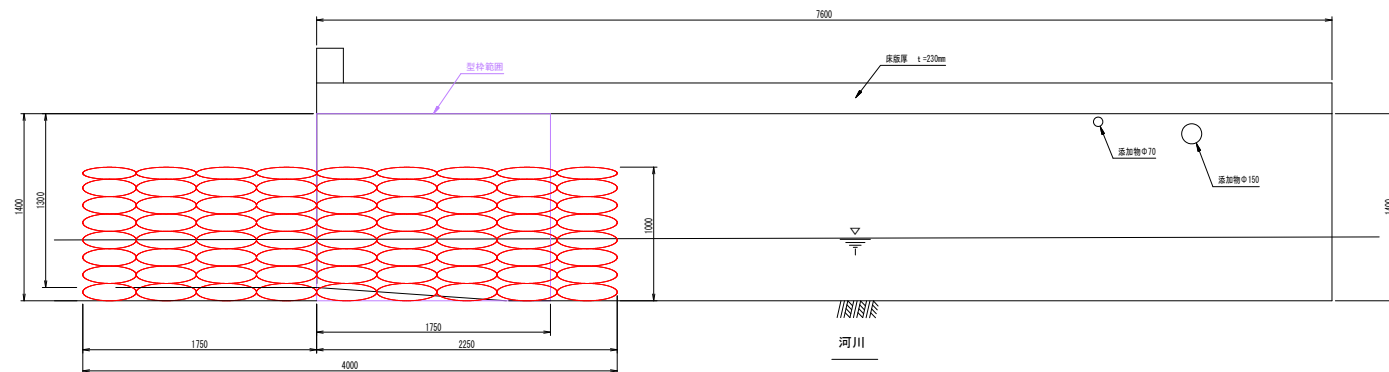


平面图
S=1:80

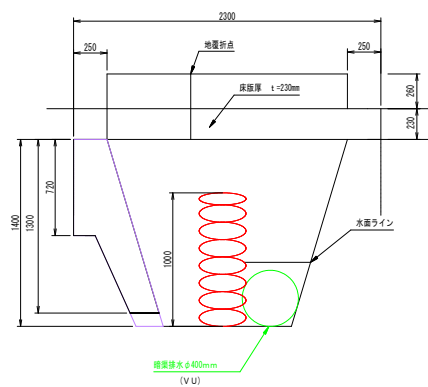


A1橋台仮設図(参考図)
(土嚢積み)

A1橋台正面図
S=1:40



下流側側面図
S=1:40



土壤積み面積
 A1橋台 $(4.00+0.30+0.69) \times 1.00 = 4.99\text{m}^2$
 側溝 $0.4 \times 0.72 = 0.29\text{m}^2$
 $A = 4.99 + 0.29 = 5.28\text{m}^2$
 VU管(φ400) $n = 4.00\text{m} / 4.00\text{m} = 1\text{本}$

